

途上国の産科・新生児科医・看護師が 日本の周産期保健・医療を学ぶ

独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA 関西）は「周産期・新生児保健医療」研修を大阪母子医療センター（大阪府和泉市）で10月18日まで実施中です。カンボジア、ホンジュラス、リベリア、ナイジェリア、タジキスタン、ザンビア、ミャンマーの7か国9名の研修員が自国の周産期ケア及び新生児保健医療の改善に資するため日本の取り組みを学んでいます。

研修に参加している産科医、新生児科医、看護師は母国の臨床現場で新しい命を救うべく日々奮闘していますが、日本のシステムや事例を学ぶことにより帰国後新生児死亡率の削減を図ることを強く希望しています。



- ◆ 日時：10月15日（火）午前10：00～12：00 通訳有り（日⇄英語）
- ◆ 場所：地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 中央会議室
- ◆ 当日の研修項目：新生児蘇生法の講義・実習

新生児科医師による新生児蘇生法・新生児集中治療室（NICU）の説明後グループごとに赤ん坊の人形を利用した新生児蘇生実習を行う。

* 本案件の概要は以下のURLをご参考願います。 **是非取材をご検討下さい!**

https://www.jica.go.jp/activities/schemes/tr_japan/summary/lineup2019/sector/ku57pq00002jvqff-att/201984455_j.pdf

【本件に関する問い合わせ先】

◆JICA 関西 業務第一課

担当：宮下 えりこ

TEL：078-261-0383

e-mail：Miyashita.Eriko@jica.go.jp

◆当日の取材について

地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 母子保健調査室 清水 仁美

TEL：0725-56-1220

e-mail：kikakusi@wch.opho.jp